



庁舎より忍城を臨む



ルーバーによる目隠し

コメント

市庁舎の耐震化については、執務をしながらの工事となることから、建物内部に影響の少ない工法を選定する必要があり、検討の結果、地上階部分においては、トグル（制震ブレース）を採用することになりました。トグルを採用したことにより、補強部材は、トイレを除いて建物外部への取付けとなったため、執務空間への影響は、特にありませんでした。また、外観デザインにも配慮して、目隠しルーバーを取付けました。

施工者様より

工事着手時に、3.11 の地震があり制振ブレースへの関心が高まった中での工事でした。工事期間中は、庁舎機能を維持しながらの工事の為、音・振動への対策で苦慮しましたが、みなさま方の協力により無事トグル制振装置の設置が完了しました。

